

# 館長室へようこそ⑪

## 個人的なわばり

図書館長 古川 聡

図書館内の施設がどのように利用されているのかを自分の目で確かめようと、毎日館内を歩く。そうすると、同じ曜日、同じ時間、同じ席に、常に同じ人が座っているのに気づく。それがわかると、いつもいるはずの時間にその人がいないと気になり、体調が悪いのか、どこかに出かけたのかなどと余計な推測をしてしまう。

これは個人的なわばりと呼ばれる。本来は公共の場所であって誰もが同じようにごく普通に使うことで、その場所の占有権をその人が確保してしまったのである。混雑した図書館で行った先行研究の結果、机の上に開いたノートを置いておくと平均七十七分間、あわせてイスにコートをかけておくと二時間以上もその席を占有できるという。

このような個人的なわばりは、教室での座る位置にも現れるが、学生だけに限ったものではない。教員もなわばりを主張したがる。それは教授会の座席である。四月はメンバーも入れ替わり、初めて会議に出席する人は無難な所を選んで座ったつもりだが、そこが三月までベテランの先生が座っていた場所となると事情は異なる。その先生からすると、自分の定位置が奪われて心中穏やかではなくなる。会議などどうでもよくなる。そうなると、次の会議では早めに来て席を確保するはずだ。観察していると興味深い。大学院生であった頃、私にも図書館でお気に入りの場所があった。人目につかない所にあるものの外の景色が見えるソファで、そこに座り本を読みながら通り過ぎる人を観察したり、実験の疲れをほぐすための居眠りをしたり。みなさんにとって図書館の中で個人的なわばりと言える場所はあるか。ノートやコートを放置するのは困りものだが、落ち着く自分のなわばりをつくってみてはどうだろうか。

### 図書館のう・ご・き (続)

#### ◇ AV資料室の機器入れ替えについて

2013年の夏休みの間に、AV資料室の機器の一部を入れ替えました。

昨年の夏から、グループ席を6席（今までの個人視聴卓の仕切りを外した形でしたが）には、ディスプレイが2台並んでいました。これは、ディスプレイが小さかったので、同じ画像を2台で見てもらおう、という工夫の結果でしたが、あまり、利用者の方には気づかれなかったかもしれません。今回はディスプレイを少し大型（24インチ）のものに変更し、DVDプレーヤーからBlu-ray（ブルーレイ、以下BD）プレーヤーに入れ替えました。個人視聴卓も19インチのディスプレイに交換し、BDプレーヤーへの入替と専用席を準備しました。現在、BDのソフトウェアも購入していますので、是非ご利用ください。

